

まちの ニュース



さんさ踊りや郷土芸能など、多彩な舞台発表が行われました(西根会場)

市民に芸術と文化に親しんでもらおうと、市芸術祭は11月2日から4の3日間、各地区で開かれました。

2日には、西根地区体育館で開幕式を開催。西根むらさきコーラスの美しい歌声が披露され、テープカットで芸術祭の開幕を祝いました。

西根、安代地区では2日からの3日間、松尾地区は3日からの2日間の日程で開催。

芸術の秋に華やぐ祭典で心も豊かになろう



工夫をこらした作品に見入ります(松尾会場)

期間中は、3地区の会場で絵画や書道、写真、生け花などのほか、地域の児童による工作などを展示。丹精込めて仕上げられた作品に、訪れた人は熱心に見入っていました。会場内には気軽に茶道を体験できる茶室を設置。本格的なお点前を披露し、簡単な作法などを教わりました。

芸術祭の花形、ステージ発表では、地域の郷土芸能をはじめ、歌や踊りなどが披露され、来場者を楽しませました。

また、交流事業として作品展示、ステージ発表それぞれで地区を越えた出品や出演などもあり、会場を盛り上げました。

フリーガーから基礎テクニクを学ぶ教室

市民フットサル教室は11月19日、アリーナまつおで小学生やフットサル愛好者など約40人が参加して開かれました。

フットサルは、室内で行われるサッカーに似た競技で、ボールもコートも小さいことから、年齢や性別を問わず生涯スポーツとして人気を集めています。

日本フットサルリーグの最

高峰、フリーグに北海道、東北地域から唯一参戦するステラミーゴいわて花巻の選手6人が講師となり、パスやシュートなど基本プレーを中心に指導しました。

教室の後半は、実戦形式のミニゲームです。参加者は、フットサル日本代表チームに選ばれるほどの選手と同じコートに立ち、パスをつないでゴールを目指しました。



↑ミニゲームでは、日本代表クラスの華麗なテクニクを間近で体験しました

←ボールの止め方、蹴り方など、基礎練習をしっかりとやります

福祉の心を学び理解を深めるまつりを開催

福祉について広く理解を深めてもらおうと八幡平市福祉まつりは10月28日、西根地区市民センターで開かれました。会場では、福祉団体の活動展示や福祉作業所の作品販売などを実施。お年寄りが普段感じている困難さを感じてもらおうと、重りの入ったベストやサポーターを身に付けてハンディキャップ体験を行いました。午後からは演芸会が行われ、歌や踊りで訪れた人を楽しませました。



バザーなど会場は大勢の人でにぎわいました

全国初の本格的フィールドクロス競技大会



障害物をクリアしながらゴールを目指します

第1回フィールドクロスレースは10月14日、田山クロスカントリーコースを会場に、県内から120人が参加して行われました。

この大会は、コースに設置された障害物を乗り越えながら速さを競う競技で、本格的な障害物レースとしては全国でも初めての開催です。

参加者は「とてもハードですが楽しい競技です。来年も参加したい」と意欲を高めていました。

秋の全国火災予防運動期間中の11月11日、松尾総合運動公園で市火災防御訓練を行いました。

県内陸北部で震度6弱の地震が発生し、アリーナまつおから出火したとの想定で訓練開始です。西根、松尾、安代の各地区消防団から、消防車両9台と団員約70人が出動しました。消防署隊と連携して、河川などからポンプ車で中継して放水する消火訓練を行いました。



大規模火災に備え、放水訓練などを行いました

いざという時に備えて火災防御訓練を実施



記念品を受け取る渡辺二三さん、妙さん夫妻

市社会福祉協議会は11月8日、八幡平市ダイヤモンド婚を祝う会を岩手山焼走り国際交流村で開催しました。

市内に在住する昭和22年12月31日以前に結婚した夫婦57組を招待。互いに助け合いながら結婚生活60周年を迎えたことを祝いしました。祝う会では、記念写真の撮影や記念品を贈呈。杉の子保育園の園児たちがお遊戯などを披露し、ダイヤモンド婚を祝いました。

夫婦で手を携えてきた節目の60年をお祝い

講演などを通して男女のあり方を考えよう

19年度八幡平市男女共同参画フォーラムは11月25日、松尾ふれあい文化伝承館で開催されました。

もりおか女性センターの平賀圭子センター長が「みんなで創る農と輝の大地」と題して多様性を認め合い、男女がともに楽しく生活する社会にしよう」と講演。続いて、田村正彦市長などが「認め合い、心豊かな地域を目指して」をテーマにパネルディスカッションを行い、議論を深めました。



男女の役割とより良い関係について議論しました

渋川少年消防クラブが火災予防を呼び掛け



呼び掛け活動に出発する渋川少年消防クラブの皆さん

渋川小学校(佐藤寛行校長、児童12人)の児童で組織する渋川少年消防クラブは11月9日、地区内で火災予防の呼び掛けを行いました。

この活動は、11月9日から15日までの秋の全国火災予防運動に合わせて実施したものです。児童は、そろいの半てんを身に付けて、消防車両に乗り込み地区内を巡回。「寝る前に火の元を確認しましょう」などと火災予防を呼び掛けました。

市の第三セクター、安代産業振興公社は11月22日、特産品のヤマブドウを広くPRしよう」と、八幡平市山ぶどうワインパーティーをテレトラック安代で開きました。

パーティーには、ワイン愛好者のほか、ヤマブドウの生産者などが参加。テーブルには、市の特産品のホウレンソウやホロホロ鳥などをふんだんに使った料理が並べられ、来場者は料理とワインを心ゆくまで楽しみました。

特産品のワインと料理を楽しむパーティー



特産品のワインと料理に舌鼓を打ちます

リース作りに挑戦する参加者



あけびつるのリース作り講座は11月14日、松尾地区公民館で開催されました。松尾地区であけび工芸の工房「寿限無」を営む田中優子さん(松尾寄木)を講師に招き、地域の女性17人が挑戦。あけびつるで円状に編んだリースの土台に、トチの実や松ぼっくりなどを飾り付けました。参加者のほとんどは初めての経験でしたが、美しい出来栄えに満足そうな笑みを浮かべていました。

あけび工芸の美しいリースを作りましょう

助け合いの心を込めてチャリティ芸能大会

安代地区歳末たすけあいチャリティ芸能大会は11月18日、安代地区体育館と田山中学校体育館の2会場でそれぞれ開かれました。

地域の保育所や幼稚園に通う園児たちが、この日のために練習してきたかわいらしい

お遊戯を発表。小学校の児童たちは、華やかなよさこいソーランを踊り、会場を盛り上げました。

このほか、婦人会や地域の有志による歌や踊りが披露され、会場を訪れた人たちを楽しませました。



↑安代小学校の4年生は「よさこいソーラン」を勇壮に披露し、会場を熱気で包みました

畑婦人会の皆さんによる歌と踊り「フワ〜ンナイト・カーニバル」



第10回少年少女の詩「江間章子賞」授与式は、11月20日に西根第一中学校で行われました。

県内の小中学生から767編の作品が寄せられ、最優秀賞に当たる江間章子賞など12人に賞状と記念品を贈呈しました。詩題と受賞者は、次のとおりです。（敬称略）

▽江間章子賞

「たいよう」中川咲（大更小1年）、「ぼくの顔」金沢大都（田山小3年）、「クレヨンで絵を描こう」沢口靖子（大更

小6年）、「自然を見つめて」千葉裕子（一関市立一関中学校3年）

▽八幡平市長賞

「まほう」田村芽衣（大更小2年）、「おにぎり」遠藤未来（寺田小4年）、「風の宅急便」沢口弥生（大更小6年）、「夢のヒカリ」夢のカケラ」饗庭祐奈（岩手大学教育学部付属中学校2年）

▽八幡平市教育長賞

「しょうくん」大志田愛理（大更小1年）、「命」藤本達瑠（田山小4年）、「おじいちゃん」小野翔平（大更小6年）、「尊敬する手」伊藤百佳（西根中1年）

受賞した皆さんと記念撮影



少年少女の豊かな感性で言葉のスケッチを



武田常徳副市長から江間章子賞を贈りました